

第2章 和歌山県の概況

1. 地勢と人口構造

- 和歌山県は紀伊半島の南西側に位置し、北は大阪府、東は奈良県及び三重県、南は熊野灘に接し、西は紀伊水道を挟んで徳島県と向かい合っている、本州最南端の県です。

4724.69km²ある面積の8割以上を山地が占め、紀の川流域の和歌山平野と有田川や日高川の下流等に小さな平野が広がっています。

海岸線は総延長650.7kmに及びリアス式海岸で、天然の良港に恵まれています。

- 本県の総人口は92万2,584人です。（令和2年国勢調査）
総人口の3分の2が県北部（和歌山・那賀・橋本）に偏在しており、特に県庁所在地である和歌山市を含む和歌山保健医療圏に全体の半数近くの人口が集中しています。



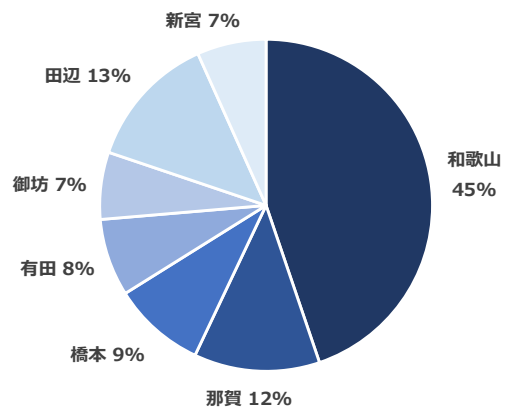
〔 二次保健医療圏別人口・県人口に占める割合 〕

(単位:人)

二次保健医療圏	総数	年齢別		
		15歳未満	15~64歳	65歳以上
和歌山	413,354	47,792	230,754	131,679
那賀	112,783	13,848	65,392	32,298
橋本	83,611	9,113	44,547	29,553
有田	69,699	8,045	37,197	24,097
御坊	60,324	6,918	32,251	20,547
田辺	120,871	13,760	64,548	41,282
新宮	61,942	5,884	29,015	26,044
県計	922,584	105,360	503,704	305,500

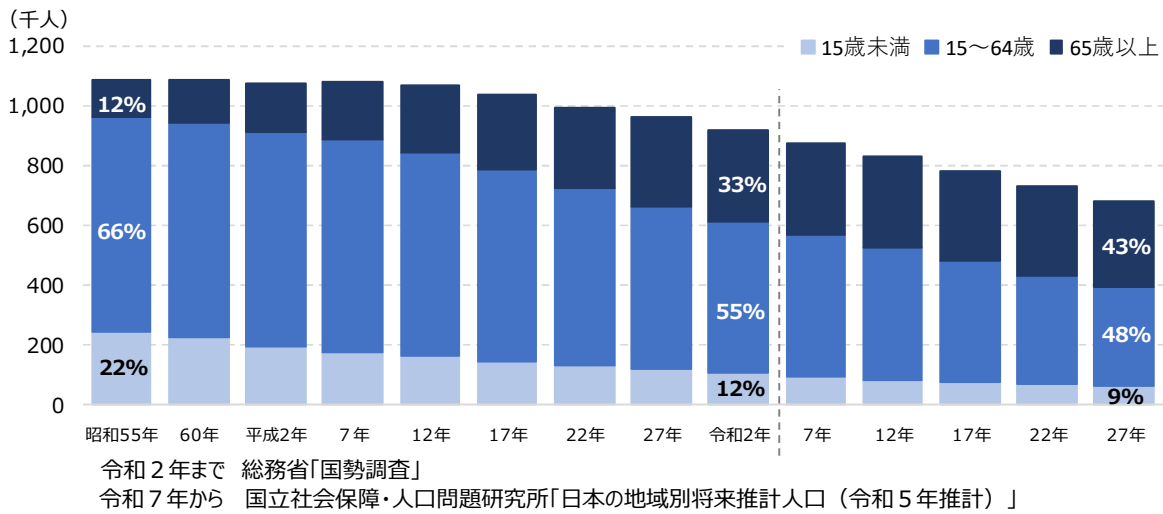
(注) 総数には年齢不詳を含む

総務省「令和2年国勢調査」



- 国勢調査によると、本県の人口は昭和60年をピークに減少に転じ、令和2年には5年前より約4%減少しています。出生率の低下等により、今後も人口減少は急速に進むと見込まれています。
- 年齢構成別では、老年人口（65歳以上）は、令和2年で県総人口の3分の1を占めており、令和27年には43%まで増大すると見込まれています。

一方で、生産年齢人口（15歳～64歳）は、令和27年には県総人口の半数を下回ると見込まれているなど、人口構造は更に大きく変化していくこととなります。



〔 市町村別の人口・高齢化率等 〕

二次保健医療圏	市町村	総数（人）		年齢構成（人）			高齢化率（※）	
		男	女	15歳未満	15～64歳	65歳以上		
和歌山	和歌山市	356,729	167,947	188,782	42,340	201,722	109,950	31%
	海南市	48,369	22,548	25,821	4,867	25,370	17,720	37%
	紀美野町	8,256	3,796	4,460	585	3,662	4,009	49%
		413,354	194,291	219,063	47,792	230,754	131,679	32%
那賀	紀の川市	58,816	27,815	31,001	6,553	32,440	19,449	33%
	岩出市	53,967	25,969	27,998	7,295	32,952	12,849	24%
		112,783	53,784	58,999	13,848	65,392	32,298	29%
橋本	橋本市	60,818	28,621	32,197	6,957	33,405	20,116	33%
	かつらぎ町	15,967	7,428	8,539	1,643	7,867	6,425	40%
	九度山町	3,856	1,782	2,074	286	1,773	1,792	47%
	高野町	2,970	1,499	1,471	227	1,502	1,220	41%
		83,611	39,330	44,281	9,113	44,547	29,553	36%
有田	有田市	26,538	12,576	13,962	2,769	14,289	9,270	35%
	湯浅町	11,122	5,196	5,926	1,185	5,766	4,089	37%
	広川町	6,781	3,195	3,586	818	3,521	2,413	36%
	有田川町	25,258	11,953	13,305	3,273	13,621	8,325	33%
		69,699	32,920	36,779	8,045	37,197	24,097	35%
御坊	御坊市	23,481	11,404	12,077	2,496	13,155	7,333	32%
	美浜町	6,867	3,217	3,650	690	3,590	2,566	37%
	日高町	7,673	3,657	4,016	1,197	4,135	2,317	30%
	由良町	5,364	2,685	2,679	500	2,724	2,088	39%
	印南町	7,720	3,660	4,060	942	3,910	2,855	37%
	日高川町	9,219	4,449	4,770	1,093	4,737	3,388	37%
		60,324	29,072	31,252	6,918	32,251	20,547	34%
田辺	田辺市	69,870	32,790	37,080	7,944	37,608	23,429	34%
	みなべ町	11,818	5,608	6,210	1,427	6,413	3,929	33%
	白浜町	20,262	9,440	10,822	1,940	10,121	8,017	40%
	上富田町	15,236	7,246	7,990	2,148	8,838	4,112	27%
	すさみ町	3,685	1,747	1,938	301	1,568	1,795	49%
		120,871	56,831	64,040	13,760	64,548	41,282	35%
新宮	新宮市	27,171	12,610	14,561	2,869	13,339	10,111	38%
	那智勝浦町	14,137	6,531	7,606	1,351	6,556	6,200	44%
	太地町	2,791	1,229	1,562	202	1,335	1,251	45%
	古座川町	2,480	1,130	1,350	184	926	1,370	55%
	北山村	404	183	221	40	182	182	45%
	串本町	14,959	7,140	7,819	1,238	6,677	6,930	47%
		61,942	28,823	33,119	5,884	29,015	26,044	43%
	県計	922,584	435,051	487,533	105,360	503,704	305,500	33%

（注）総数には年齢不詳を含む

総務省「令和2年国勢調査」

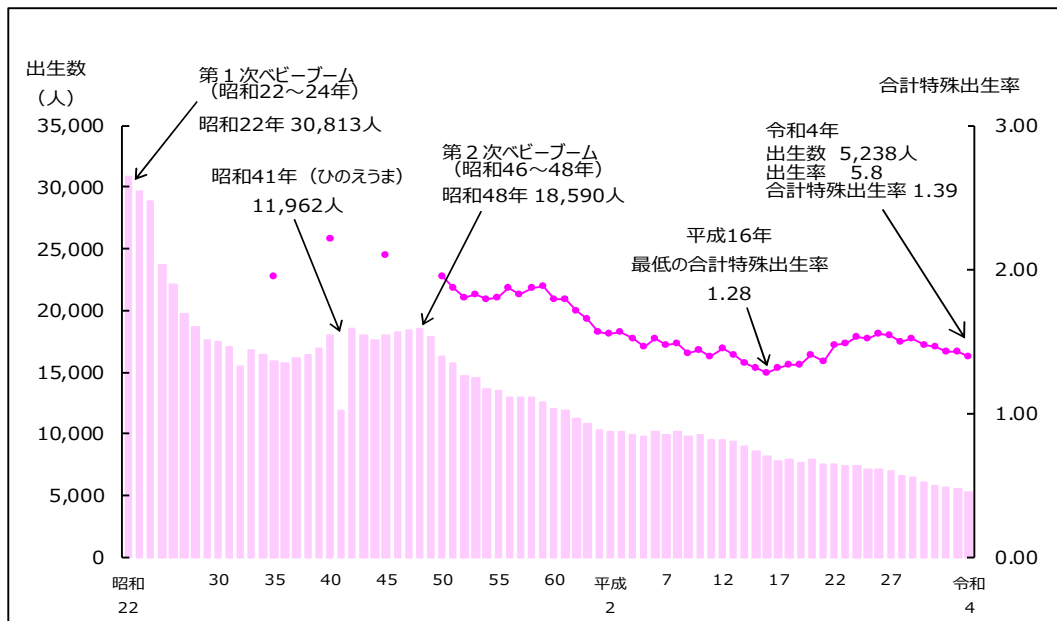
（※）高齢化率(%) = $\frac{65歳以上人口}{(全人口 - 年齢不詳人口)} \times 100$

2. 人口動態

出生

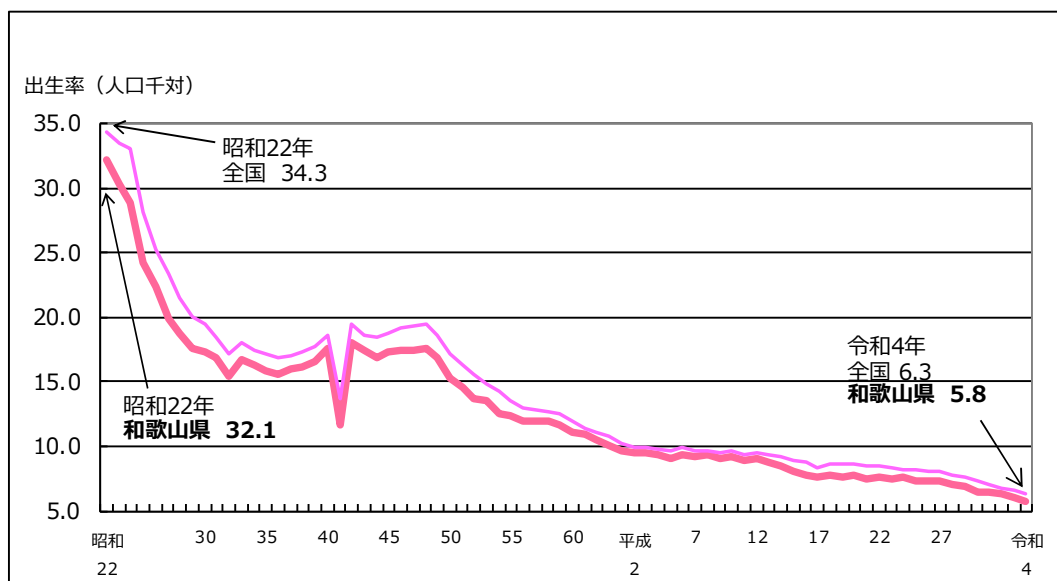
- 令和4年における本県の出生数は5,238人、人口千対の出生率は5.8で、全国平均の6.3を下回っています。出生数の年次推移をみると、第2次ベビーブーム期を境に減少に転じ、以降は減少傾向が続いています。
- 合計特殊出生率^{※1}は1.39で、過去最低となった平成16年以降緩やかな回復傾向にあるものの、依然として低い状況にあります。

〔 出生数及び合計特殊出生率の年次推移 〕



厚生労働省「人口動態統計」

〔 出生率の年次推移 (和歌山県・全国) 〕

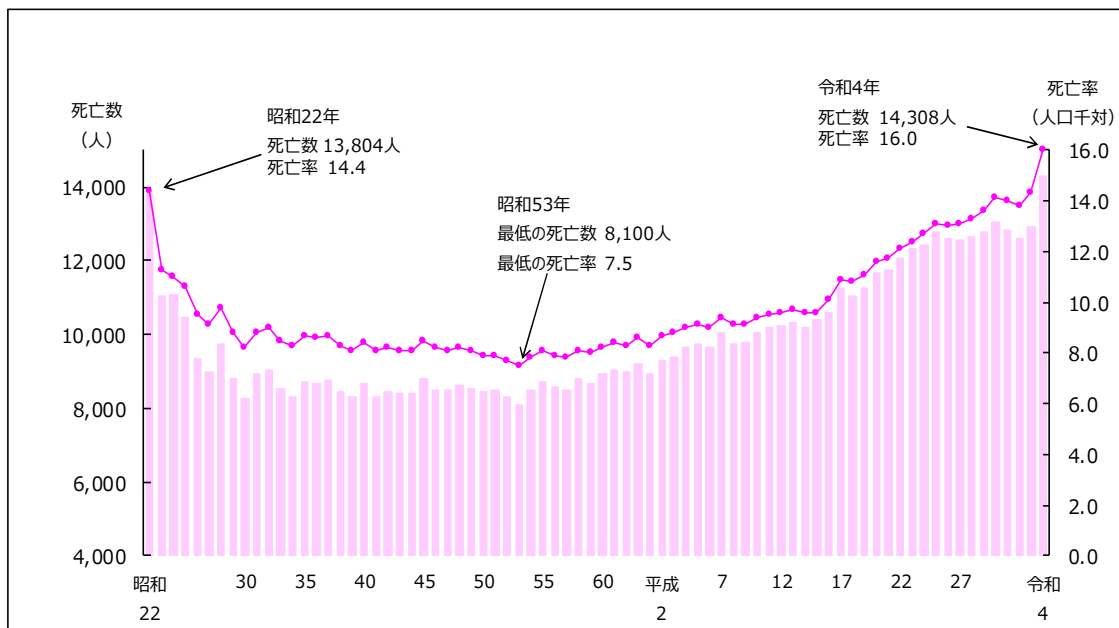


厚生労働省「人口動態統計」

死亡

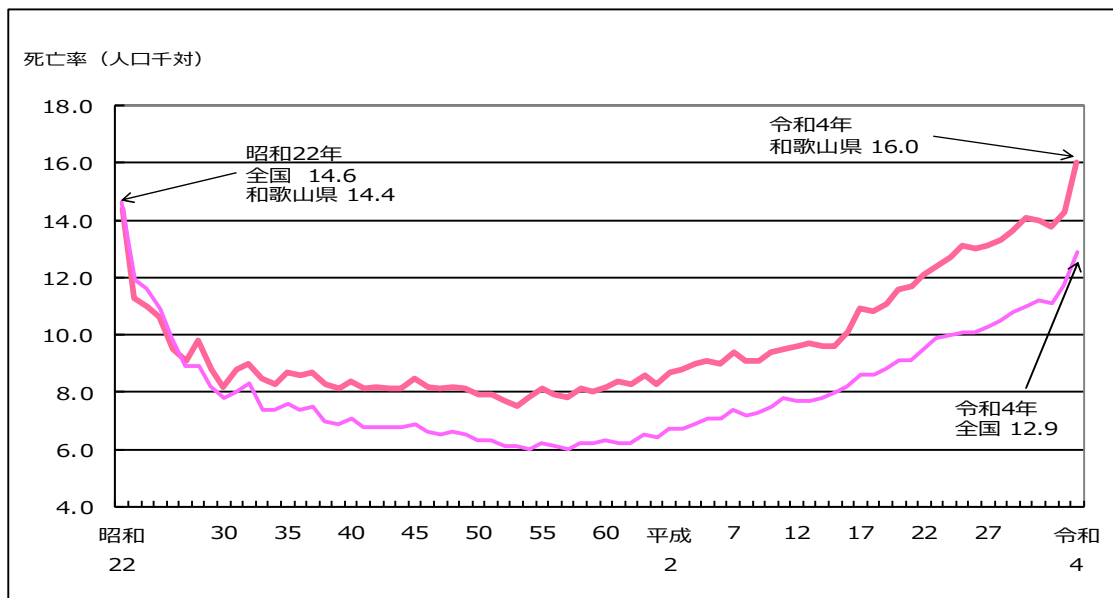
- 令和4年における本県の死亡数は1万4,308人、人口千対の死亡率は16.0で、全国平均を上回り、いずれも過去最高値となっています。
- 死亡率は、昭和30年代以降ほぼ横ばいで推移してきましたが、平成に入ってから以降、上昇傾向にあります。

〔 死亡数及び死亡率の年次推移 〕



厚生労働省「人口動態統計」

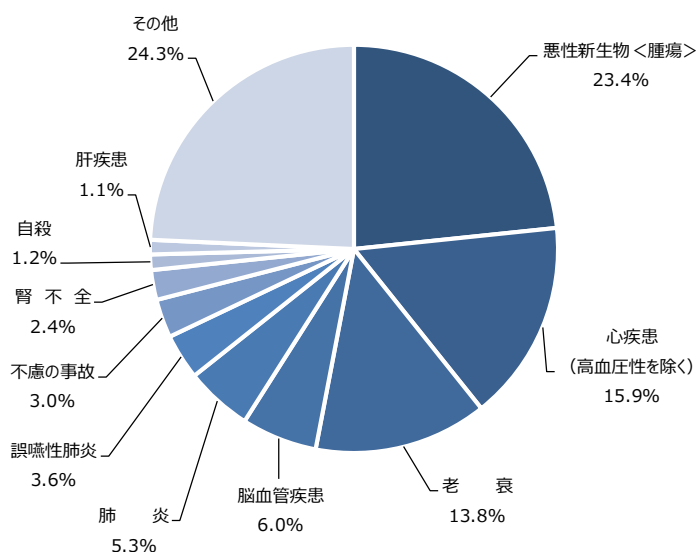
〔 死亡率の年次推移（和歌山県・全国） 〕



厚生労働省「人口動態統計」

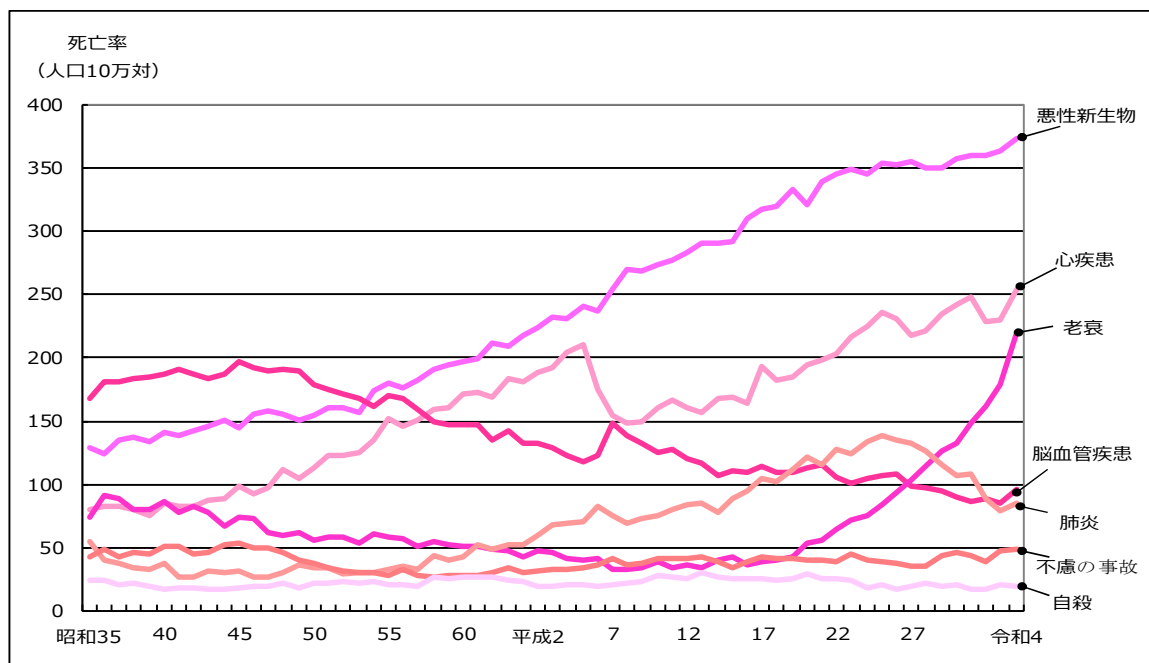
- 令和4年における本県の死因別死亡数の割合は、悪性新生物が全体の23.4%、心疾患が15.9%、老衰が13.8%となっており、上位3死因で全体の半数以上を占めています。
- 年次推移をみると、悪性新生物が昭和54年に死因第1位となり、以降急激な増加を続けています。心疾患は、昭和58年に脳血管疾患にかわって第2位となり、全体として増加傾向にあります。かつて死因第1位であった脳血管疾患は、昭和40年代後半以降減少傾向にあります。

〔 主な死因別死亡数の割合 〕



厚生労働省「人口動態統計」

〔 主な死因別死亡率の年次推移 〕

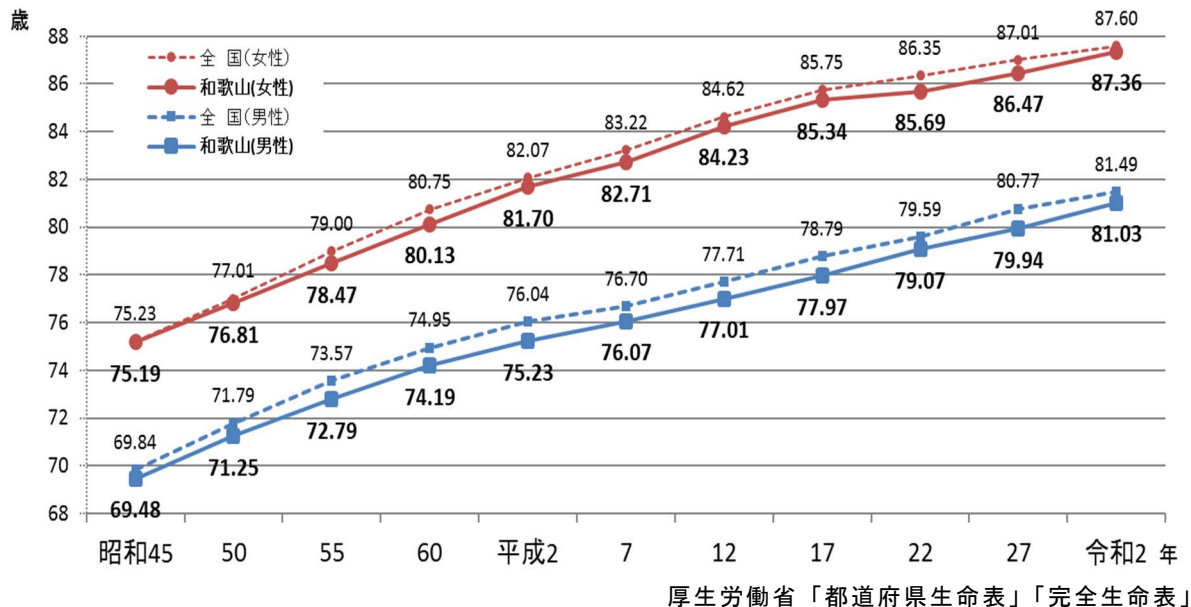


厚生労働省「人口動態統計」

平均寿命

- 令和2年における本県の平均寿命は男性81.03歳、女性87.36歳となっており、男性、女性とも全国平均を下回って推移しています。

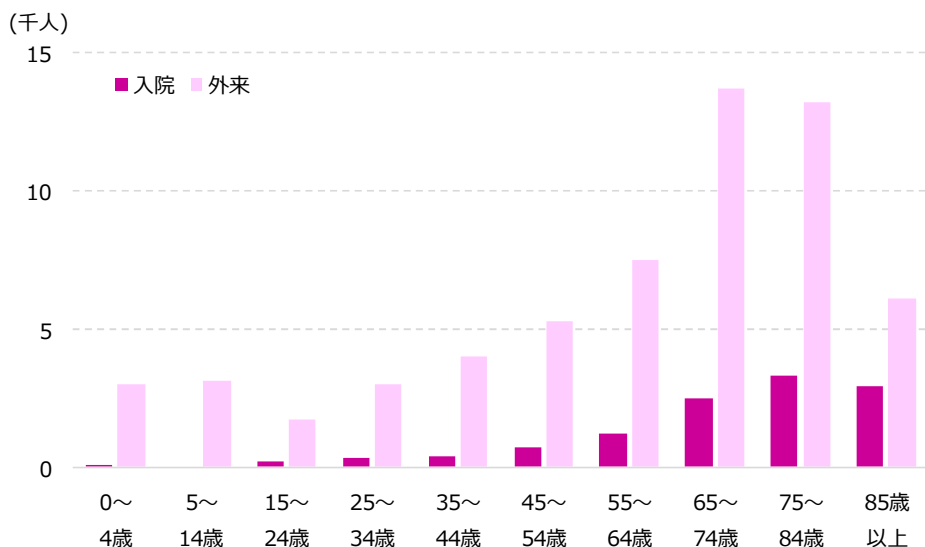
〔 平均寿命の推移 〕



3. 受療動向

- 本県の推計患者数は、入院が1日あたり1万1,500人、外来が1日あたり6万900人です。年齢階級別でみると、入院患者は65歳以上から大きく増加し、外来患者は65歳～74歳が最も多くなっています。

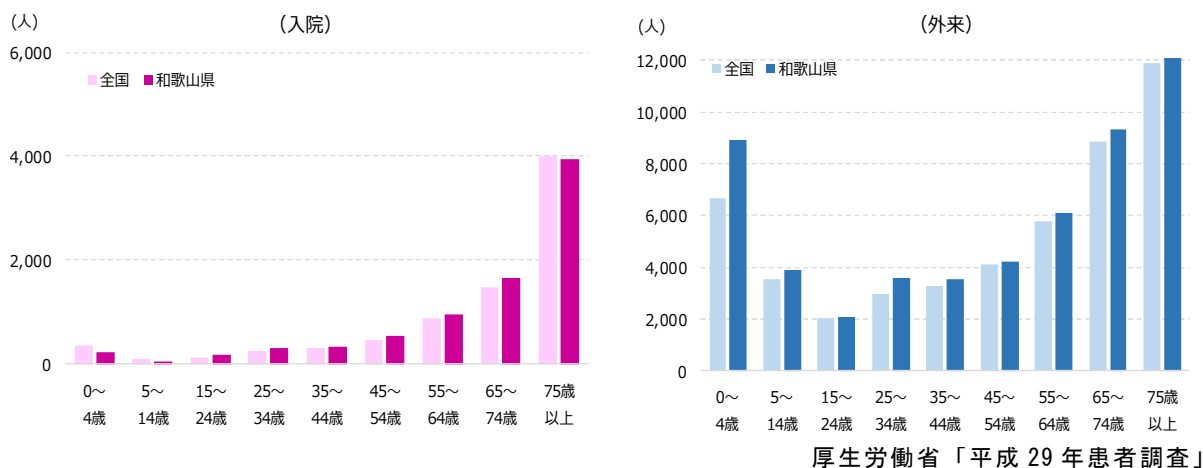
〔 和歌山県の推計患者数（年齢階級別） 〕



厚生労働省「平成29年患者調査」※
※新型コロナウイルスによる影響のない平成29年調査を用いています。

- 本県の人口10万対の患者数（受療率^{※2}）は、入院が1,215人、外来が6,446人で、全国平均（入院1,036人、外来5,675人）を上回っており、年齢階級別にみると、入院・外来とも75歳以上が最も高くなっています。

〔 年齢階級別受療率（人口10万対） 〕



- 疾病分類別の受療率をみると、入院では「精神及び行動の障害」、「循環器系の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」の順に多く、外来では「消化器系の疾患」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順に多くなっています。

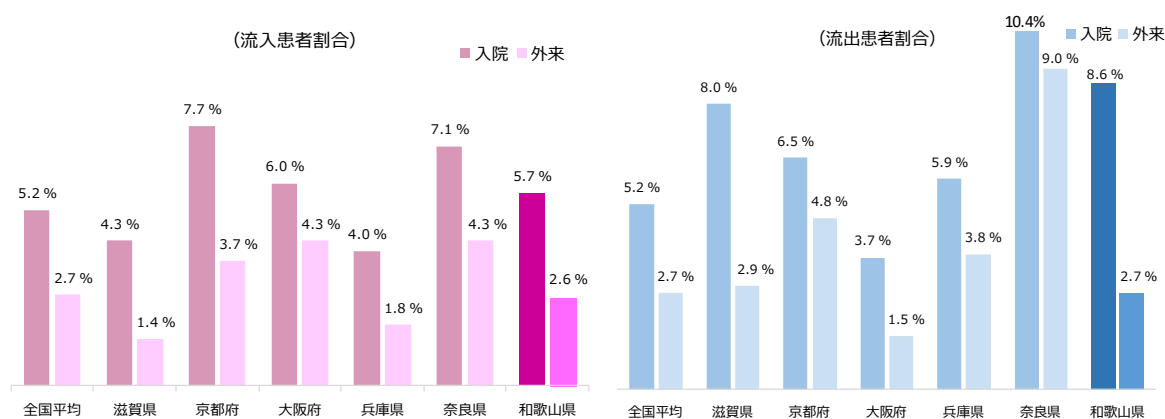
〔 疾病分類別受療率（人口10万対） 〕

	入院		外来	
	全国	和歌山県	全国	和歌山県
総数	1,036	1,215	5,675	6,446
I 感染症及び寄生虫症	16	17	134	121
II 新生物<腫瘍>	112	127	197	255
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5	4	17	21
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	26	35	350	474
V 精神及び行動の障害	199	211	206	185
VI 神経系の疾患	100	90	130	187
VII 眼及び付属器の疾患	9	12	283	417
VIII 耳及び乳様突起の疾患	2	3	78	93
IX 循環器系の疾患	180	199	702	986
X 呼吸器系の疾患	76	98	497	509
X I 消化器系の疾患	52	59	1,021	1,183
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	9	16	240	219
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	56	78	692	593
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	40	59	254	236
X V 妊娠、分娩及び産じょく	14	11	12	14
X VI 周産期に発生した病態	6	3	2	4
X VII 先天奇形、変形及び染色体異常	4	4	11	18
X VIII 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	11	22	62	79
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	109	148	236	277
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10	18	553	574

厚生労働省「平成29年患者調査」

- 県内の医療施設のうち、県外からの患者が占める割合（流入割合）は、入院で5.7%、外来で2.6%となっており、概ね全国平均と同水準にあります。
- 県内の患者が県外の医療施設を受診している割合（流出割合）は、大阪府を除く近畿各府県において全国平均を上回るなかで、本県は入院が8.6%と高くなっている一方、外来は2.7%と低くなっています。

〔 推計流出入患者割合 〕



厚生労働省「平成 29 年患者調査」

- 本県の入院患者の全病床における平均在院日数は26.5日で、全国平均をやや下回っています。病床の種類別にみると、精神病床や療養病床は全国平均を下回る一方で、一般病床は上回っています。
- 全病床における病床利用率は72.6%で、全国平均をやや下回っています。病床の種類別にみると、一般病床は全国平均と同水準ですが、結核病床は和歌山県の結核罹患率が全国平均より高いため、結核病床利用率は全国平均を上回っています。なお、感染症病床は新型コロナウイルス感染症への緊急的な対応として一般病床等に在院する者を含むことから病床利用率は100%を上回っています。

〔 病院の平均在院日数 〕

	全病床					
	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	
全国	27.3日	276.7日	10.5日	44.5日	126.5日	16.2日
和歌山県	26.5日	253.6日	8.9日	102.2日	100.3日	19.4日

厚生労働省「令和4年病院報告」

〔 病院の病床利用率 〕

	全病床					
	精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	
全国	75.3%	82.3%	571.2%	27.4%	84.7%	69.0%
和歌山県	72.6%	70.6%	569.6%	35.5%	77.8%	70.0%

厚生労働省「令和4年病院報告」

■用語の説明

※1 合計特殊出生率

その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産むこどもの数を示す人口統計上の指標。

※2 受療率

推計患者数を人口10万対であらわした数。

受療率（人口10万対）＝ 推計患者数／推計人口×100,000

4. 医療施設の状況

- 病院数、診療所数ともに微減傾向にあります。人口10万対で比較すると、病院、診療所とも全国平均を超えており、特に一般診療所は全国の数値を大きく上回り、都道府県別では全国第1位となっています。（令和4年10月1日現在）

		平成 20年	23年	26年	29年	令和 2年	3年	4年	人口 10万対 (4年)
病院	和歌山	92	92	86	83	83	83	83	9.2
	全国	8,794	8,605	8,493	8,412	8,238	8,205	8,156	6.5
一般 診療所	和歌山	1,070	1,059	1,070	1,035	1,022	1,021	1,030	114.1
	全国	99,083	99,547	100,461	101,471	102,612	104,292	105,182	84.2
歯科 診療所	和歌山	554	550	554	540	526	525	520	57.6
	全国	67,779	68,156	68,592	68,609	67,874	67,899	67,755	54.2

厚生労働省「医療施設調査」

〔 二次保健医療圏別 病院・診療所 施設数 〕

二次 保健医療圏	病 院				一般 診療所	歯科 診療所
	精神科 病院	一般病院	療養病床を 有する(再掲)			
和歌山	43	3	40	19	488	254
那 賀	8	1	7	4	111	48
橋 本	5	1	4	1	90	45
有 田	6	1	5	3	75	38
御 坊	4	-	4	1	66	29
田 辺	9	1	8	4	130	58
新 宮	8	1	7	3	70	48
県 計	83	8	75	35	1,030	520

厚生労働省「令和4年 医療施設調査」

〔 二次保健医療圏別 病床数 〕

二次 保健医療圏	病 院						一般診療所	
	精 神	感染症	結 核	療 養	一 般		療養病床 (再掲)	
和歌山	6,137	773	8	-	1,023	4,333	390	16
那 賀	1,114	218	4	-	232	660	94	6
橋 本	907	120	4	-	113	670	58	30
有 田	931	300	4	-	155	472	38	16
御 坊	959	100	4	15	51	789	18	-
田 辺	1,620	198	4	-	361	1,057	77	36
新 宮	1,162	335	4	-	182	641	67	6
県 計	12,830	2,044	32	15	2,117	8,622	742	110

厚生労働省「令和4年 医療施設調査」

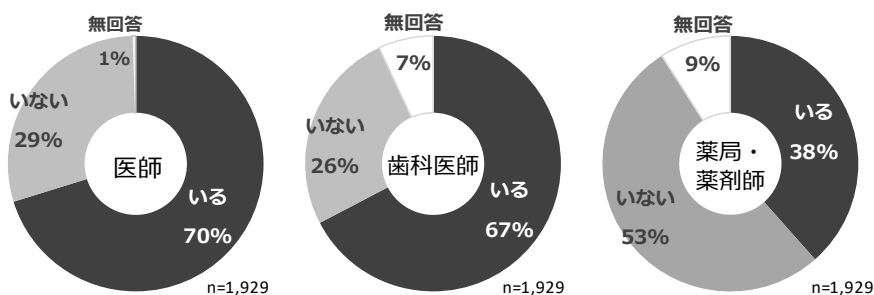
5. 保健医療に関する県民の意識等

- 第八次和歌山県保健医療計画等、今後の保健医療行政推進の参考とするため、「保健医療に関する県民意識調査」を実施しました。

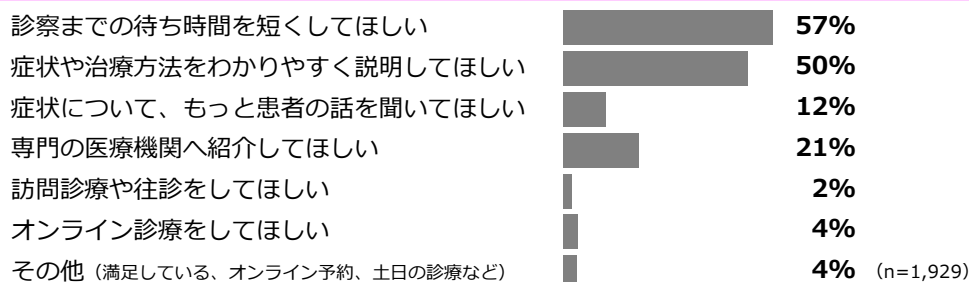
調査対象者	和歌山県内に居住する満20歳以上79歳以下の県民 5,100名 (令和5年4月1日の住民基本台帳に基づき無作為抽出)
調査実施期間	令和5年7月10日～令和5年7月31日
調査方法	郵送による調査票の配付・回収
有効回答数	有効配付数 5,066 有効回答数(率) 1,929 (38.1%)
調査報告書	和歌山県ホームページ https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/imuka/ishikichousa.html

主な調査結果 48設問のうち、主なものを掲載。

かかりつけの医師、歯科医師、薬局・薬剤師の有無



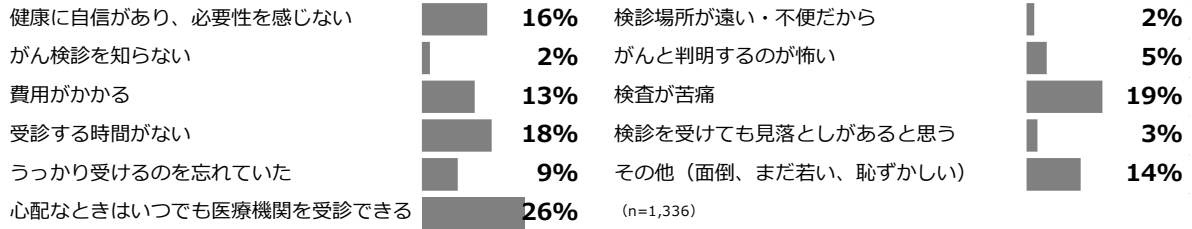
病気の診療や治療で望むこと



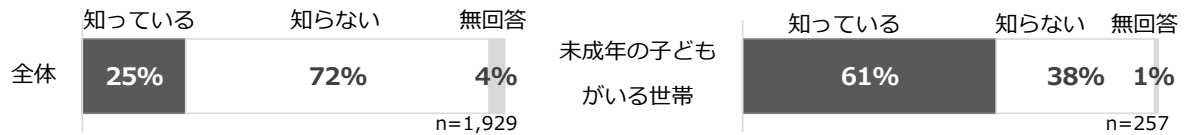
がん検診を受けた人の割合

	肺がん検診	大腸がん検診	胃がん検診	女性のみ	子宮頸がん検診	乳がん検診
県全体 n=1929	50%	44%	43%	n=1043	42%	40%
和歌山 n=303	45%	41%	40%	n=169	34%	32%
那賀 n=247	50%	45%	43%	n=137	45%	45%
橋本 n=266	53%	52%	49%	n=138	43%	47%
有田 n=268	51%	41%	46%	n=143	39%	34%
御坊 n=269	55%	47%	43%	n=141	43%	46%
田辺 n=257	49%	45%	44%	n=133	50%	43%
新宮 n=245	51%	44%	40%	n=142	43%	40%

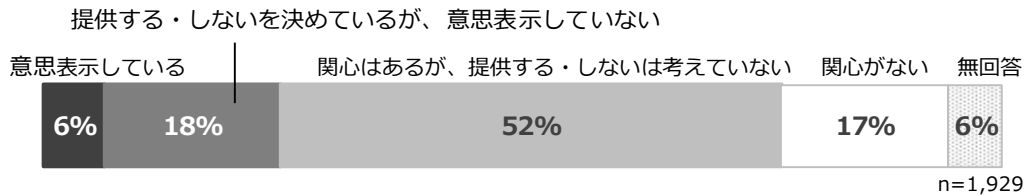
がん検診を受けなかった理由



こども救急相談ダイヤル#8000の認知度



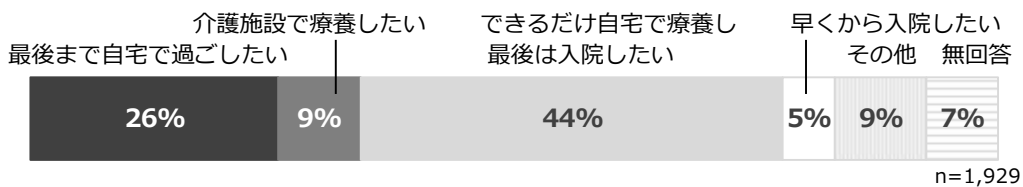
臓器提供の意思表示



人生の最終段階における医療やケアについて、受たいもの・受たくないものを家族と話し合っているか



自分の最期をどう過ごしたいか



医療に関して日頃から感じていること等（主なご意見）

- ・待ち時間が長い（特に大病院）
- ・早朝、深夜、休日にも診療してほしい
- ・どの医療機関・診療科に行けばいいかわからない
- ・近くに大きな病院・医療機関がない
- ・都市部と地方とで医療格差がある
- ・医療費が高い、保険料が高い
- ・感謝している
- ・医師や看護師は患者に寄り添って欲しくない
- ・患者の話をもっと聞いてほしい
- ・わかりやすく説明してほしい
- ・マイナンバーカードは不安
- ・延命治療は必要ない

（注）端数処理の都合上、見かけの合計値が100%にならない場合があります。
複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超えます。